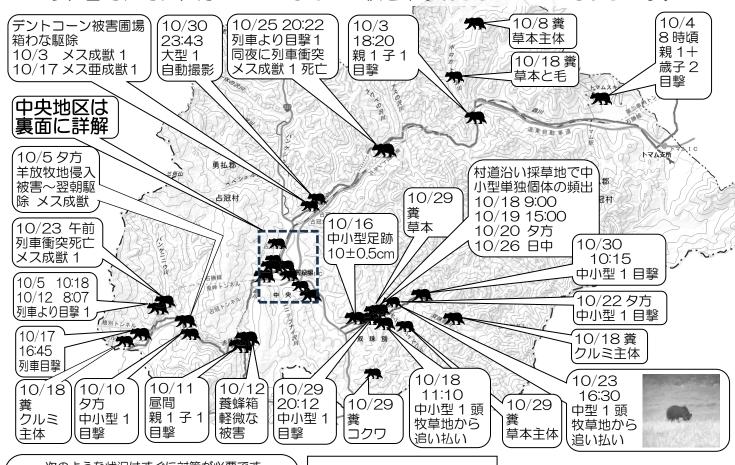
ヒグマについてのお知らせ

例年になくヒグマの目撃や市街地接近が多い秋となっています。村内の生息個体数がそれほど急激に増えたのではなく、既存のクマたちの行動の変化によるものと思われます。これまでは巧みに人目をすり抜けていたクマたちが、この秋は妙に落ち着きを失い、エサ探しに狂奔しているように感じられます。ミズナラ、ヤマブドウ、コクワの不作を受けてオニグルミへの移行が予想されましたが、これも決して豊作ではなく、また分布も偏っているようなので、思いのほかシカへの依存が高まっているかもしれません。村内ではシカの捕獲残滓を放置しませんが、ヒグマが交通事故死のシカを利用することはあり、おそらく自然死のシカや、生きたシカの捕食もあるのではないかと考えられます。さらに牧草を食べるヒグマも頻繁に見られており、皆それぞれ、何とかしてひもじい秋を乗り切ろうとしているようです。



次のような状況はすぐに対策が必要です。

- 住宅や事業所等、人の生活する場所に現れた。
- ★ 道路上や道路脇、農地に居座っている。
- ★人に気付いても逃げない。
- 人に近づく素振りを見せる。あとを付けてきた。
- 持ち物を奪われた。
- ☀️ 農作物や生ゴミなど、人工物を食べている。
- ★ 人や家畜、ペットが襲われた。
 - ヒグマが車と衝突、けがをして道路周辺にいる。

、次のような状況では、静観できると考えられます。

- ○山間部で道路の横断を目撃した。痕跡があった。
- ○山林内でヒグマの痕跡を見た。
- 山林内でヒグマを目撃した。ヒグマは立ち去った

すぐにお知らせください。

状況に応じ、注意喚起や立入制限、追い払いや捕獲等の対処をします。

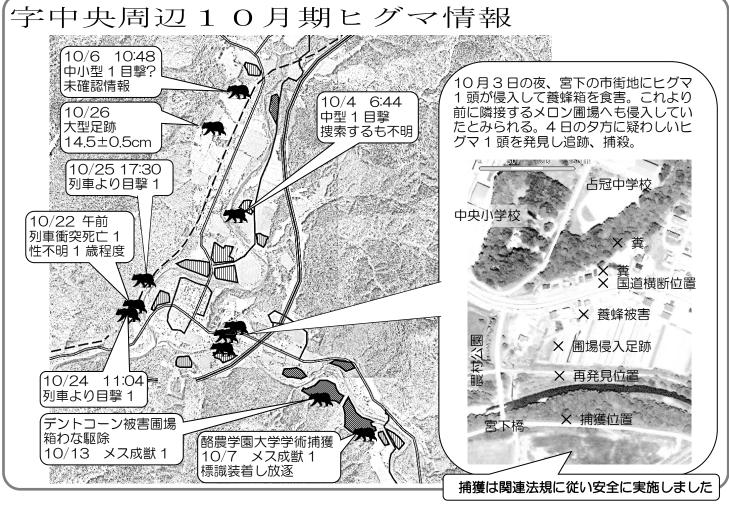
占冠村役場 農林課 林業振興室 野生鳥獣担当 ☎0167-56-2174 占 冠 駐 在 所

20167-56-2110

役場林業振興室に情報をお寄せ ください。生息状況の基礎デー タとして集積し、対策に活かして まいります。



注)情報の有無に係わらず、村内は、どこでもヒグマがいる可能性があります。



上に示したように 10 月 3 日の夜から 4 日にかけて、ヒグマ 1 頭が字中央の宮 下の市街地に侵入する事案がありました。近年過去にない大胆な行動です。人への 接触や接近はありませんでしたが、養蜂設備が食害を受けたほか、メロン栽培圃場 に侵入していたことも明らかになりました。村は各学校と連携して登下校の安全確 保に当たり、また再度の侵入に備えて周辺を警戒し、4日の夕方に当該個体らしき ヒグマ 1 頭を発見し捕殺しました。宮下行政区の皆様には行政区回覧でお知らせし たとおりです。翌日以降も朝夕の巡視を続けましたが、別個体による再発もなく、

10月11日に通常の警戒態勢に戻りま した。今回は住民の皆さまからの素早い 情報提供により迅速に対応できました。 ご協力ありがとうございました。

過去にヒグマが来ていなかった市街地 でも、侵入を阻む障壁があるわけではな く、いつなんどき最初の侵入があるかわ かりません。街中でヒグマを見たら、慌 てず最寄りの屋内か車内に入り、すぐに 村の担当へお知らせください。

酪農学園大学の伊藤ゼミ

今期も行動追跡調査のためのヒグマ生け捕りに成功し ました! 地元農家さんのご協力を得て準備を進め、去る 10月7日、子を連れていない単独のメス成獣 | 頭をわ なで捕獲し、麻酔下で電波標識を装着して放ちました。 これから標識を外すまでの | 年間、貴重な行動デ を得られることが期待されます!!



占冠村役場 農林課 林業振興室 電話0167-56-2174